

## ◎議会報告

### 新体育館について

#### Q1 市民

・過去には新体育館の研究委員会が、新体育館建設の基礎づくりをしてきたが、その方たちが行ってきたことの評価をして欲しい。

#### A 永田委員長

・議会でも研究していきたい。調査報告書等をいただき十分評価をしている。議会で機会があれば、もう一度検証させていただき、研究委員会の成果について、評価をしたいと個人的には考えている。

#### Q2 市民

・反対派の意見として、多くの市民の体力向上に寄与できる体育館にしてほしいという意見があったと思うが、今までの体育館とはイメージを変えて、若い方や一部の人だけが使うのではなく、クラブなどの活動の場に加えて、健康寿命を延ばすような運動をできる高齢者の健康づくりの場として設計をして欲しい。

#### A 永田委員長

・おっしゃる通りで、高齢者が健康に過ごしていただくよう高齢化社会を迎える中で今回建設する体育館では健康寿命を延ばすことを主眼において基本コンセプトを設定していく。

・基本コンセプトは3月議会で示されると思うが、市民の皆さまにも公開し、いろいろな意見をいただき市民に愛される体育館にしていかなければと考えている。

#### A 中村議員

・平成27年4月に策定されたスポーツ推進計画にご指摘の内容が含まれている。市内で盛んなスポーツの一番にウォーキングということなので、体育館の敷地の中にそういった環境も整備していく必要があると考えている。

#### Q3 市民

・関連する内容であるが、塩尻駅北の土地区画整理事業が共に進んでいる。そこで、北部圏域の住民の交通環境、特に広丘西通線の進捗状況についてだが、今年度、郷原交差点改良の概略設計を行い、その後、肅々と計画を進めていくとの説明が担当課からあった。ぜひ前向きな推進をお願いしたい。（要望）

#### Q4 市民

・アンケートも賛否が拮抗しているので、図面などができた段階で、何度か説明会などを開いて住民の話も聞いていただければ、より良い計画ができるのではないかと。

#### A 永田委員長

・現在、大枠で決定している部分であるが、まず27年度中に基本コンセプトを決める。

また、場所について、今は大枠のエリアを示しているのみであるが、具体的にどこの敷地に建設するかを決める。さらに、施設の概略図や整備手法を決める。28年3月までにこれらのことを決めて、市民の皆さんに示した後、パブリックコメントなどで皆さんの意見を聞いていく。聴取の方法はこれから決めていく。

28年度に入り地権者説明会、用地買収と用地測量を進め、さらに、設計業者をどのような形で選ぶか。これから決めていく。

また、28年度から29年度の始めにかけて、基本設計に入る。29年度から30年度にかけて用地保証や売買契約を結び、その後、実施設計、そして建設に向かっていく。

完成予定は33年の3月の予定である。

#### **Q5 市民**

・ 広丘ふれあいセンター周辺も含めた道路整備がしっかりできれば、信州スカイパークのようにウォーキングをできるようになる。体育館建設と道路整備を結びつけて考えてほしい。

#### **A 中村議員**

区画整理事業と一体的に連続性を持たせられるよう委員会で意見を出しているのご理解願いたい。